

47学会で新組織発足

防災分野の協力関係構築

日本学術会議と連携



国内の学術団体47学会で構成する新組織「防災学術連携体」が9日、東京・港区の日本学術会議講堂で発足に伴う設立総

会と記念講演会を開いた。写真。大規模災害への備えを目的に、同連携体は日本学術会議（大西隆会長）と連携しながら緊急時の円滑な協力関係構築と若手研究者の育成などに取り組む。

同連携体は、地震、津波、火山のほか、気象、地盤などを専門分野とする学術団体47学会を中心に発足。これまで、個々に研究を行っていた学術団体が、日本学術会議と連携しながら、専門分野の枠を超えて研究を進めることで、発災から5年

が経過する東日本大震災への復興や南海トラフ地震といった大規模地震への備え、異常気象に伴う風水害などに対し、国や地域の防災減災対策に役立ててもらおう。同時に、より総合的な視点で防災減災に取り組むことができる若手研究者の育成にも注力していく。設立総会では、発足メ

ンバーのうち日本学術会議の和田章東工大名誉教授、土木学会の廣瀬典昭会長が代表幹事に、副代表幹事として日本学術会議の依田照彦早大教授と日本建築学会の時松孝次副会長にそれぞれ決まった。発足にあたり、和田教授は「東日本大震災から5年が経過し、学術団体相互の知恵を絞りこの困難を乗り越えよう」と力強く述べ、同連携体によって災害復元力のレベルアップを目指すことを強調した。

シ上で公開する方法を検討したり、国会図書館と連携して防災関連の研究者などのデータに関して情報の保管や展開方法を検討したりする。今年12月には全構成学会によるシンポジウムも開く予定。

発足メンバーは次の通り。（五十音順）

- ▽安全工学会▽横断型基幹科学技術研究団体連合▽環境システム計測制御学会▽空気調和・衛生工学会▽計測自動制御学会▽こども環境学会▽砂防学会▽地域安全学会▽地理情報システム学会▽地盤工学会▽土木学会▽日本応用地質学会▽日本海洋学会▽日本火災学会▽日本火山学会▽日本風工学会▽日本活断層学会
- ▽日本機械学会▽日本気象学会▽日本救急医学学会▽日本計画行政学会▽日本建築学会▽日本原子力学会▽日本古生物学会▽日本コンクリート工学会▽日本災害看護学会▽日本災害情報学会▽日本災害復興学会▽日本自然災害学会▽日本集団災害医学会▽日本森林学会▽日本地震学会▽日本地震工学学会▽日本地すべり学会▽日本自治体危機管理学会▽日本造園学会▽日本第四紀学会▽日本地域経済学会▽日本地球惑星科学連合▽日本地質学会▽日本地図学会▽日本地理学会▽日本都市計画学会▽日本水環境学会▽日本ロボット学会▽農業農村工学会▽廃棄物資源循環学会